



#MIRACLE 81

取扱説明書



■本製品のお問い合わせ先

まずはFAXもしくはEメールにてお問い合わせください。

FAX番号：0827-35-5268
E-MAIL：info@tsubame-group.co.jp

仕様変更などによりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。

<http://e-time.tsubame-group.co.jp/>

最新版の取扱い説明書はこちらでダウンロードできます。▶

- この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この商品を正しく安全に使用していただくために、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管し、必要なときにお読みください。

目次

本書では#MIRACLE81(当製品)を正しく安全に使用するために必要なことを説明しております。

お乗り頂く前に必ず本書の内容を注意深く読み、組み立て、機能、メンテナンス、制限及び使用上の注意事項を完全に理解した上で当製品をご使用ください。

ただし、本書では電動アシスト自転車を安全に乗るために必要な技術やスキルについては記載しておりません。

- 本書は印刷時に入手可能な最新の情報に基づいています。
- 本書は常に当製品と一緒に保管し、必要に応じて参照してください。
- 本書及び当製品は予告なく変更することがあることに注意してください。
- 最新の情報について株式会社ツバメ・イータイムのホームページ(<http://e-time.tsubame-group.co.jp/>)をチェックしてください。
- 本書は株式会社ツバメ・イータイムの書面による許可なしに、全部または一部を複製、変更することはできません。

1. はじめに ······	2
1-1. 安全に関する表示 ······	2
1-2. 安全にお使いいただくために ······	2.3
2. 組立 ······	4
2-1. 内容物の確認 ······	4.5
2-2. 前輪タイヤの取り付け ······	6.7
2-3. ハンドルレバーの取り付け ······	7
2-4. 前照灯部品の取り付け ······	8
2-5. シートの取り付け ······	9
2-6. リアキャリアの取り付け ······	9
3. 使用方法 ······	10
3-1. 各部の名前 ······	10.11
3-2. 電源/モードスイッチの使い方 ······	12
3-3. ディスプレイについて ······	12
3-4. 乗車前の確認 ······	13.14
3-5. バッテリーについて(充電方法) ······	15.16
4. メンテナンス ······	17
4-1. 日常のお手入れ ······	17
4-2. 定期的な点検 ······	17
5. 廃棄について ······	17

1. はじめに

1-1. 安全に関する表示

△ 危険	誤った使い方をした場合、死亡や重傷を負うことや、物的損害の発生するおそれが高いことを示しています。
△ 警告	誤った使い方をした場合、死亡や重傷を負うことや、物的損害の発生する可能性があることを示しています。
△ 注意	誤った使い方をした場合、障害を負うことや、物的損害の発生する可能性があることを示しています。

1-2. 安全にお使いいただくために

①本体について（電動アシスト自転車特有の危険があります）

△ 警告	乗車の前には毎回、P13の項目の内容を確認してください。 走行中の破損やブレーキが効かないことによる転倒や衝突の恐れがあります。 改造や分解、また指定箇所以外への注油はしないでください。 走行中の破損やブレーキが効かないことによる転倒や衝突の恐れがあります。 オプションや荷物などを取り付ける場合、乗車の前に安全性や歩行者に危害を及ぼすことがないか十分に注意し確認してください。 走行中の破損やブレーキが効かないことによる転倒や衝突の恐れがあります。 操作に慣れるまで交通量が少ない場所で十分に練習してください。 通常の自転車と特性が異なる加速特性、アシスト特性があります。最初は安全な場所で特性を十分に理解してください。 慣れない状態で乗車すると事故や転倒の恐れがあります。 ペダルは必ず本製品に正しく跨った状態で操作してください。 急な加速で事故や転倒の恐れがあります。 本製品に跨る際は必ずブレーキをかけた状態で行なってください。 急な加速で事故や転倒の恐れがあります。 乗車中に停止する場合は、停止中にブレーキを解除しないでください。 また、ペダルを動かさないでください。 急な加速で事故や転倒の恐れがあります。 バッテリーはバッテリーキーで確実に固定した状態で乗車してください。 走行中のバッテリー落下で事故や転倒の恐れがあります。
△ 危険	バッテリーの接続端子は触れたり濡らしたりしないでください。 バッテリーにおいて感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

②バッテリーについて

△ 危険	指定の充電器以外で充電しないでください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	本製品以外で使用しないでください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	火への投入、加熱をしないでください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	強い衝撃を与えない、分解や破損した状態で使用しないでください。 感電、発熱、発火、破裂、液漏れによるやけど、失明の恐れがあります。
	端子に触れない、端子に金属などを接触させないでください。保管時に端子に金属が触れないようにしてください。 感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	火のそばや直射日光、暖房のそばなど高温になる場所で充電、使用、保管をしないでください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
△ 警告	水に入れたり、水中に投下したりしないでください。 感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	充電中、使用中及び使用直後に長時間触れたり、カバーをかけたり、燃えやすいものを側に置いたりしないでください。 火傷、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	幼児やペットが触れる場所で充電、保管しないでください。 感電、故障、火傷の恐れがあります。
	廃棄の際は必ず自治体の指示に従って廃棄してください。 火傷、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

③充電器について

△ 警告	本製品のバッテリー充電以外の用途で使用しないでください。 感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	分解、改造はしないでください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	衝撃を与える、水濡れ、高湿度環境での使用はしないでください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	充電端子に触れたり、金属を接触させたりしないでください。 感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	電源コード（コンセント側）や電源プラグ（バッテリー側）及び本体が、破損したり改造された状態で使用しないでください。 コードは傷つける、無理に曲げる、束ねる、無理にねじる、無理に引っ張る、熱を加えることにより破損します。感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	充電端子や電源プラグのほこりは定期的に取ってください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	濡れた手で取り扱いしないでください。 感電の恐れがあります。
	電源コード（コンセント側）や電源プラグ（バッテリー側）は確実に奥まで差し込んでください。 感電や発熱により発火、破裂の恐れがあります。
	配線器具の定格を超えて使用しない、タコ足配線で使用しないでください。 発熱により発火、破裂の恐れがあります。
	充電中、使用中及び使用直後に長時間触れたり、カバーをかけたり、燃えやすいものを側に置いたりしないでください。 火傷、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	幼児やペットが触れる場所で充電、保管しないでください。 感電、故障、火傷の恐れがあります。

2. 組立

2-1. 内容物の確認

開梱したら最初に同梱品をご確認ください。

△ 注意 :梱包から同梱品を取り出す際、重量が重いため怪我をしないようにご注意ください。
(移動、開梱は2名での作業を推奨します。)

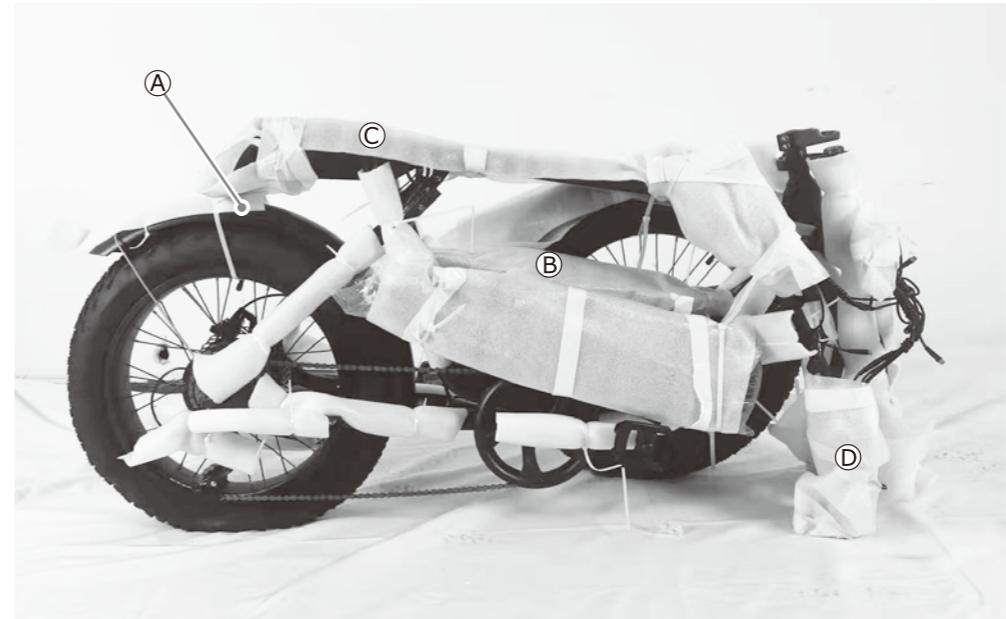
梱包	No.	品目	数量	説明
①	1	取扱説明書	1	本書
	2	本体フレーム	1	#MIRACLE81本体
	3	シート	1	シート
	4	シート固定用ナット	6	シート固定用のナット
	5	ハンドルレバー部品	1	ハンドルレバー部品
	6	バッテリー固定キー	2	バッテリーの固定、取り外しをするためのキーです。(予備1個)
	7	フロントフェンダー	1	フロントタイヤのフェンダー(泥除け)
	8	前輪タイヤ	1	前輪タイヤ+取り付け部品
	9	バッテリー	1	メインバッテリー
	10	リアキャリア	1	自転車後方荷台
②	11	前照灯部品	1	前照灯
	12	前照灯固定金具	2	前照灯の固定用金具
	13	前照灯固定ボルト	2	前照灯の固定用ボルト
④	14	工具キット	1	組立、整備用
	15	充電器	1	バッテリー充電器
	16	ACケーブル	1	充電器用ACケーブル
	17	ハンドルレバー固定金具	1	ハンドルレバー固定用金具
	18	ハンドルレバー固定ボルト	4	ハンドルレバー固定用ボルト

梱包品は以下のような形態で梱包されます。(写真はイメージです)

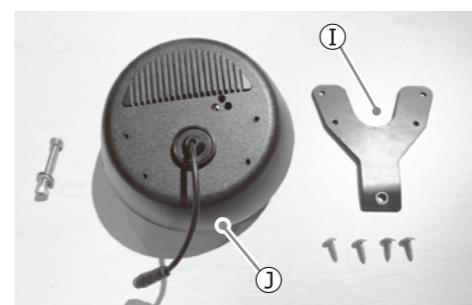


- ①本書**
**②本体一式:#MIRACLE81本体と
主要な構成部品が含まれます。**

△ 注意
後輪タイヤは梱包の都合上、空気を抜いた状態です。
乗車前に必ず空気を入れてください。
空気を入れる際はタイヤにチューブを挟まないごと、
バルブをタイヤ内に押し込まないごとに注意してください。
空気を入れる前にバルブは軽く引っ張ってください。

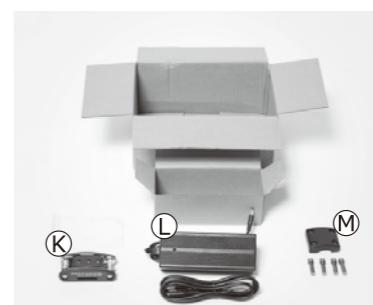


- Ⓐテールライト部品
- Ⓑバッテリー(本体固定)
- Ⓒシート
- Ⓓハンドルレバー
- Ⓔフロントフェンダー
- Ⓕ前輪タイヤ
- Ⓖ後輪タイヤ(空気なし)
- Ⓗバッテリー固定キー



- ③前照灯部品: 前照灯です。
取り付け部品も同梱しています。**

- ①前照灯固定金具・ボルト
②前照灯部品



- ④付属品一式**

- ⑧工具キット
⑨充電器・ACケーブル
⑩ハンドルレバー固定金具・ボルト



- ⑤バッテリー**

- ⑪バッテリー

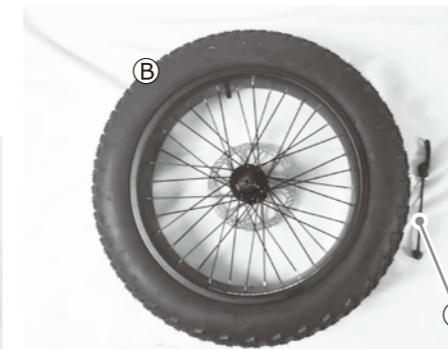
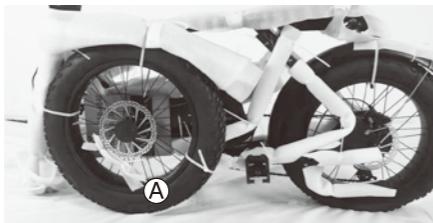
2. 組立

2-2. 前輪タイヤの取り付け

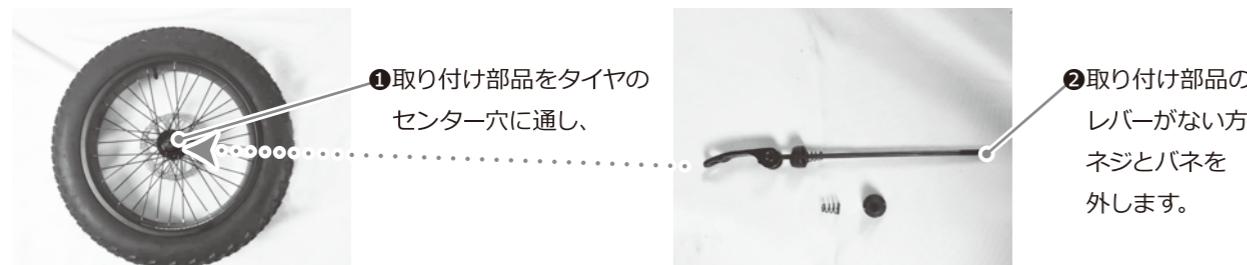
必要部材: 本体フレーム、前輪タイヤ・取り付け部品、フロントフェンダー

- ①前輪タイヤと前輪タイヤに付いている
取り付け部品の梱包を外す。

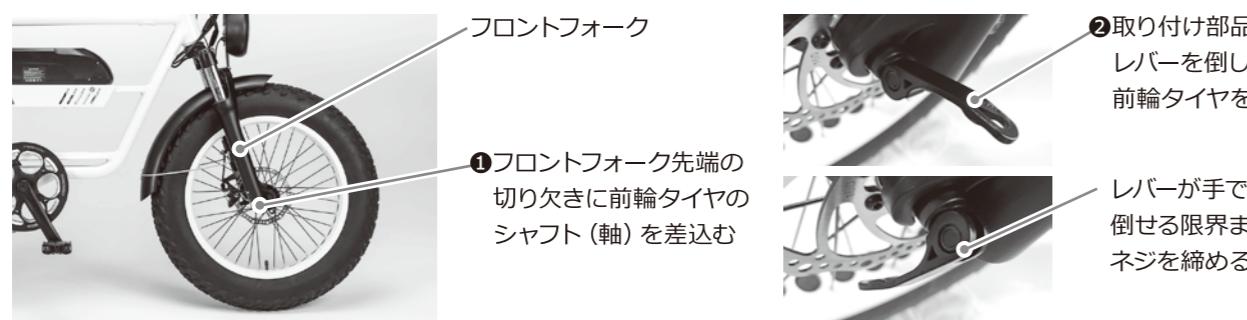
Ⓐ前輪タイヤ・取り付け部品
Ⓑ前輪タイヤ
Ⓒ取り付け部品



- ②前輪タイヤの中心穴に取り付け部品を取り付ける。
(後で増し締めをするためネジは2~3山程度だけ緩めに締めてください)



- ③本体のフロントフォークを持ち上げながら前輪タイヤのシャフトをフロントフォークに差し込み、取り付け部品のネジをレバーが動かせるギリギリまで締め、最後に取り付け部品のレバーを倒しタイヤをロックする。

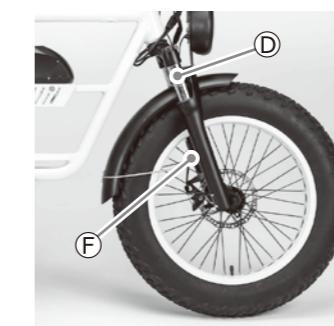


⚠ 注意: 前輪タイヤ取り付け時にブレーキディスクを曲げたり、ぶつけたりしないように気をつけてください。
本体は重いため、前輪タイヤ取り付け時に指などを挟まないように気をつけてください。
前輪タイヤ固定後、前輪タイヤを回転させタイヤの回転がスムーズであり、回転異常がないことを確認後、
前輪ブレーキが正常に動作し、前輪タイヤが停止することを確認してください。

- ④フロントフェンダーを
フロントフォークに既に
付いているボルト
3箇所で取り付ける。

*ボルトの固定は付属工具キットの
六角レンチを使用します。

Ⓐフロントフェンダーボルト(頂点)
Ⓑフロントフェンダーボルト(左)
Ⓒフロントフェンダーボルト(右)



ボルト取り付け位置(左右)

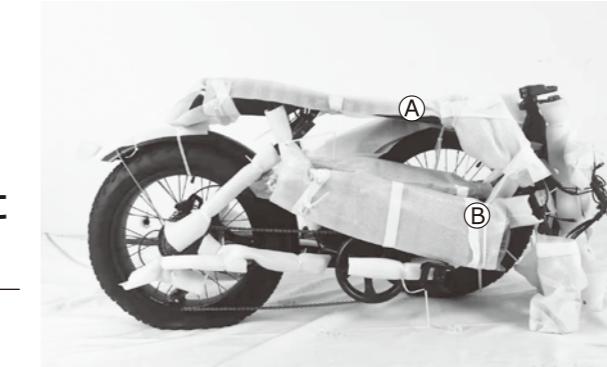
2-3. ハンドルバーの取り付け

必要部材: 本体フレーム、ハンドル固定金具・ボルト

- ①ハンドルバーの
梱包を外す。

- ②ハンドルバーを
本体のハンドル
固定部分の窪みに
仮置きする。

Ⓐハンドルバー固定部分
Ⓑハンドルバー梱包位置

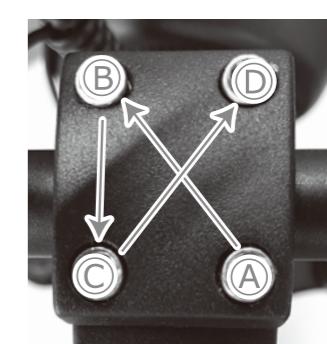


ハンドルバーを固定部分の
窪みに合わせる

- ③ハンドルバー固定金具とボルトでハンドルバーを固定する。

*ボルトの固定は付属工具キットの六角レンチを使用します。

Ⓒハンドルバー固定ボルト(4本)
Ⓓハンドルバー固定金具



⚠ 注意:
ハンドルバー固定ボルトは最初
緩めから対角線の順番に徐々に
締めてください。
(Ⓐ→Ⓑ→Ⓒ→Ⓓ→Ⓐの順に
徐々に締め付けて行きます)

2. 組立

2-4. 前照灯部品の取り付け

必要部材：本体フレーム、前照灯部品、前照灯固定金具、前照灯固定ボルト

- ①前照灯裏側のボルト（4本）を固定する。
- ②前照灯下部をフロントフォークと固定する。
- ③前照灯がガタつかないように固定する。

*ボルトの固定は付属工具キットの六角レンチを使用します。



- ①前照灯と前照灯固定金具をボルトで4箇所固定する。
- ②①を泥除けフェンダーと一緒にフロントフォークに固定する。

- ④前照灯部品のコネクタ2種を本体から出ている同色のコネクタにコネクタの色が見えなくなるまで差込み接続する

*コネクタは赤、黒の2色で色分けされています。

*誤った位置で刺さらない機構ですが、コネクタの矢印印同士を合わせてから差し込んでください。



位置合わせ用矢印印
コネクタの矢印
刻印同士を合わせて
コネクタの色が完全に
隠れるまで確実に
奥まで差込みます。

△注意：接続するコネクタ同士の色は必ず合わせてください。
コネクタ差込時にコネクタを破損しないように注意してください。
コネクタは確実に奥まで差込み、本体完成後動作確認してください。

2-5. シートの取り付け

必要部材：本体フレーム、シート、シート固定用ナット

- ①シートの梱包を外す。

*シート固定用ナットはシート裏のボルトに仮止めしています。

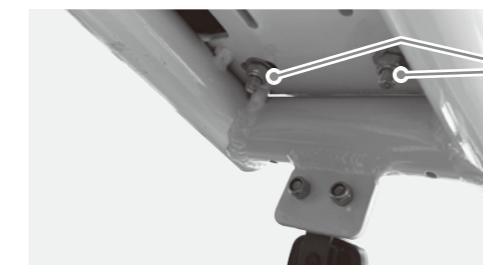


- Ⓐシート
Ⓑシート固定用ナット（6個）

- ②シート裏側のボルト位置を確認し、本体のフレームにある穴位置に合わせてシートを置いてナットで固定する。

*ボルトの固定は付属工具キットのスパナで6箇所固定します。

*後部の2箇所のボルトは別部品のコントローラーケースと供用ボルトのため、ねじ穴合わせに注意ください。



△注意：
コントローラーケースと
共用ボルトのため、
ケーブルの挟みこみに
ご注意ください。



シート固定用ナットでシート下から
前部、中央、後部の左右で計6箇所固定します

2-6. リアキャリアの取り付け

必要部材：本体フレーム、リアキャリア、リアキャリア固定用ナット

- ①リアキャリアの梱包を外す。



- Ⓐリアキャリア
Ⓑリアキャリア
固定用ナット（6個）

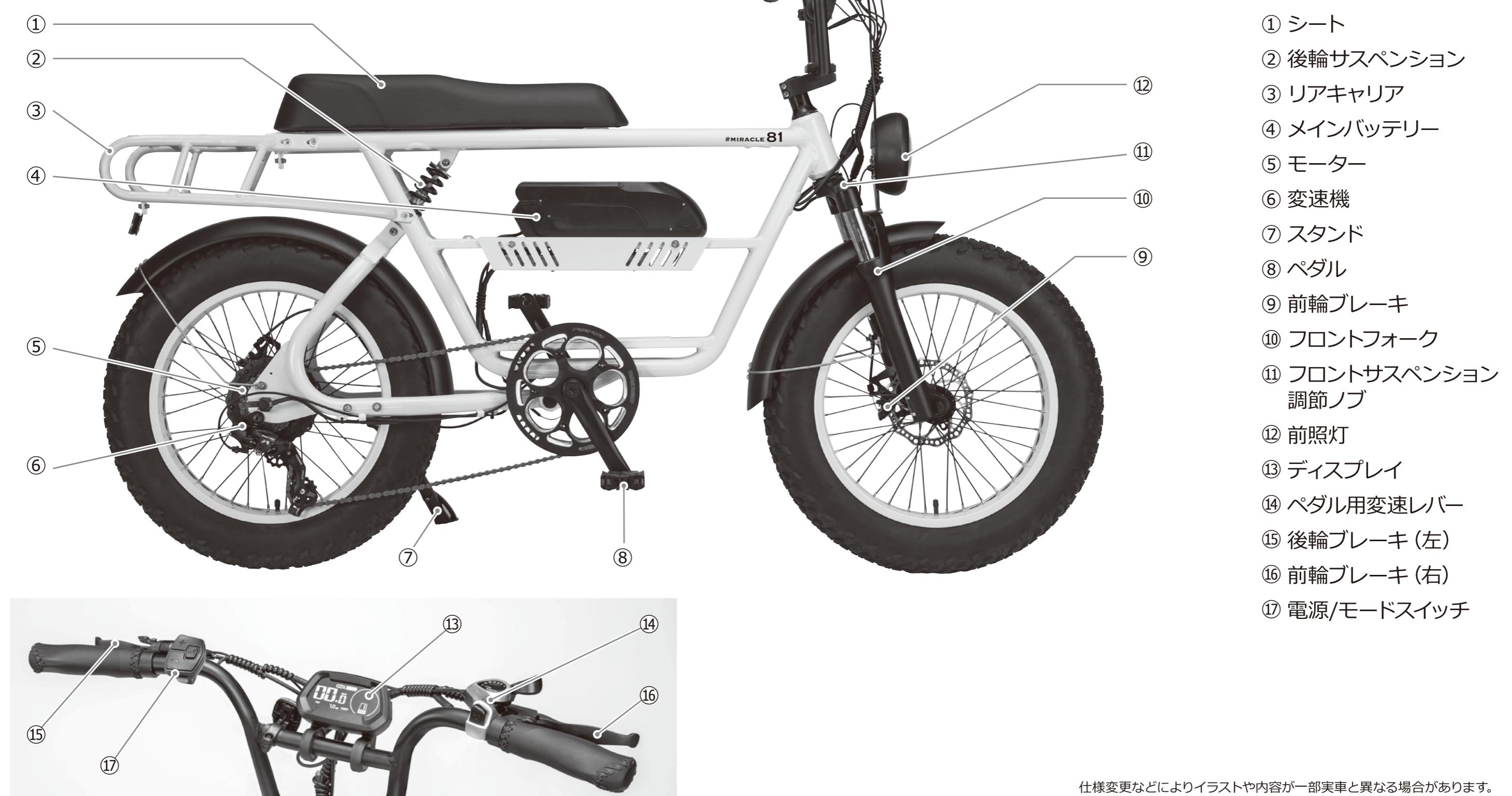
- ②リアキャリアのボルト位置を確認し、本体のフレームにある穴位置に合わせてリアキャリアを置いてナットで固定する。



リアキャリアはお好みで装着してください。

3. 使用方法

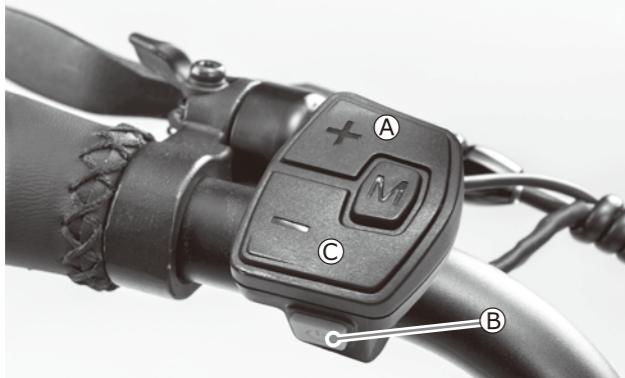
3-1. 各部の名前



3. 使用方法

3-2. 電源/モードスイッチの使い方

電源ボタン長押しで自転車のシステムがONになります。



Ⓐモード+ボタン:
押す度に走行モードを1つ上にあげます。
長押しで前照灯をON/OFFができます。

Ⓑ電源ボタン:
長押し2秒でシステムのON/OFFができます。
電源ON時に押すとTRIP/ODO切り替えができます。

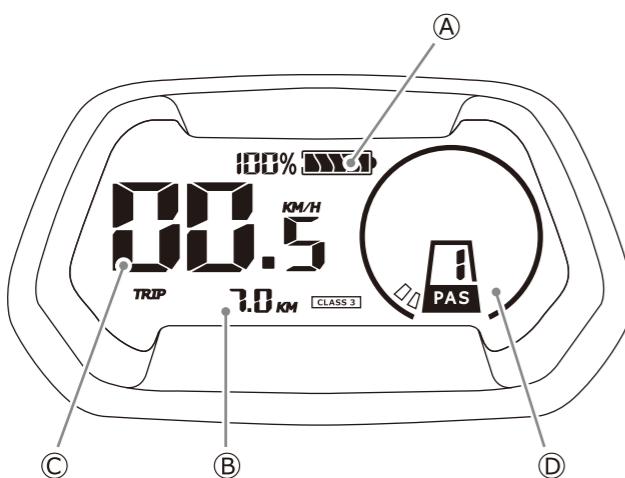
Ⓒモード-ボタン:
押す度に走行モードを1つ下にさげます。

長押しで前照灯をON/OFFができます。

3-3. ディスプレイについて

電源ボタン長押しで自転車のシステムがONになります。

①メイン画面



Ⓐバッテリー表示:
バッテリー残量を示します。赤くなったら充電してください。
ⒷTRIP/ODO表示:
現在の走行距離を示します。
TRIP/ODOは電源(M)ボタンで切り替えます。
Ⓒ速度表示:
現在の速度を示します。Km/h
Ⓓモード表示:
現在の走行モードを示します。

3-4. 乗車前の確認

①タイヤの空気圧

道路状況に応じて乗車前に必ず適正な空気圧であることを確認してください。

道路状況	空気圧 (PSI)	備考
オンロード	20-25 PSI	通常はこの数値を維持してください。
オフロード	12-15 PSI	砂利道や林道など衝撃の吸収が必要な路面に適しています。
雪上、砂地	1-8 PSI	この空気圧ではホイールやタイヤが破損しやすいため、硬い場所を走行しないでください。

②ネジの緩み

以下の各所にネジの緩みがないか確認してください。

確認項目	確認方法
ハンドルバー	乗車状態でハンドルを前後に振りガタ付きがないことを確認
操作スイッチ類	実際に操作し、操作時に動いたり、ガタついたりしない事を確認
前照灯	前照灯の向きが簡単に動かないことを確認
タイヤ（前後）	取り付け部品のレバー（前輪のみ）が倒れており、容易に動かないと、タイヤにガタつきがない事を確認
リアキャリア、その他オプション	ガタ付きやボルトが手で回せるまで緩んでいるなどないことを確認

③ブレーキ

以下の項目を確認してください。

確認項目	確認方法
ブレーキの効き	左右のブレーキを握り、ブレーキが確実に利くことを確認
ブレーキ油漏れ	目視にて漏れがないか確認
ブレーキホース損傷	目視にて損傷箇所がないか確認
ブレーキキャリパー、ブレーキディスクのガタ付き	ボルトでしっかりと固定されており、ブレーキキャリパーやブレーキディスクにガタつきがないこと
ブレーキディスクとブレーキキャリパーの位置	ブレーキディスクが常にブレーキキャリパーに接触していないことを確認

3. 使用方法

④保安部品

以下の項目を確認してください。

確認項目	確認方法
前照灯	前照灯が点灯し、十分な明るさがあることを確認

⑤バッテリー状態

以下の項目を確認してください。

確認項目	確認方法
バッテリー充電状態	バッテリーのスイッチをONにし、残量ボタンを押してランプが2個以上点灯することを確認
バッテリースイッチ確認	バッテリーの電源スイッチがONになっていることを確認
バッテリーロック	バッテリーキーで固定されていることを確認
バッテリー外観確認	バッテリーの外観上の破損および異常発熱がないか確認
充電口確認	バッテリーの充電口にあるカバーにより、水やホコリが入らないようになっていることを確認

3-5. バッテリーについて(充電方法)

- 電動アシスト自転車の特性上、バッテリーが減つくるとモーター出力が落ちてきます。速度やトルクが必要な場合はバッテリーをなるべく満充電状態でご使用ください。
- バッテリーは消耗品です。走行距離が短くなってきたと感じたら買い替えを検討ください。
- バッテリーをしばらく使用しない場合は、バッテリースイッチをOff“○”にしてください。

①バッテリー



⑧バッテリーロック：
バッテリーロックキーで回すごと
バッテリーを自転車に固定/解除します。

⑧バッテリー残量確認：
ボタンを押すと、バッテリーの残量をランプで
表示します。
ランプは4個あり、赤、緑、緑、緑です。
残量が減ると点灯数が減ります。
赤1個は残量なしです。



⑧充電ポート：
充電時に充電器を接続します。



⑧バッテリースイッチ：
バッテリーの自転車への通電スイッチです。
“○”でOFF、“—”でONです。

3. 使用方法

②充電方法



●バッテリーを充電する際は先に充電器をコンセントに接続した後、充電器とバッテリーを接続してください。

●充電器の充電状態ランプが赤は充電中を示しています。緑は充電完了です。



④充電状態ランプ:
赤=充電中、緑=充電完了

①充電器とバッテリーを接続
②ACコンセントをコンセントに接続

4. メンテナンス

4-1. 日常のお手入れ

- 本製品は雨天を考慮しておりますが、浸水や豪雨には対応しておりません。保管時は屋根の下、またはカバーをつけてください。
 - 汚れた場合、水による洗車は絶対にしないでください。
乾いた布で拭いていただくか、布を濡らし、硬く絞った上で拭き取ってください。
 - 本製品に使用しているブレーキオイルはミネラルオイルです。
他のオイルは絶対に使用しないでください。
- ⚠ 危険 : ミネラルオイル以外使用しないでください。
別のオイルを使用した場合、ブレーキが破損し、ブレーキが効かなくなることによる事故の恐れがあります。

4-2. 定期的な点検

- 点検で不明点がありましたら販売元、または最寄りのバイク、自転車修理店にご相談ください。
- 株式会社ツバメ・イータイムのホームページ (<http://e-time.tsubame-group.co.jp/>) では随時、最新情報を更新しています。定期的に(数ヶ月に1度)チェックしてください。

5. 廃棄について

- 本製品の廃棄にあたっては管轄の自治体の規定に従ってください。
- 本製品のバッテリーはリチウムイオン電池です。絶対に他のゴミと一緒に捨てないでください。